

子育て共同参画時代

お風呂に入れる、おむつを替える……だけが子育てじゃない。お手伝いで参加する子育てから、主体性をもって参画する子育てに。

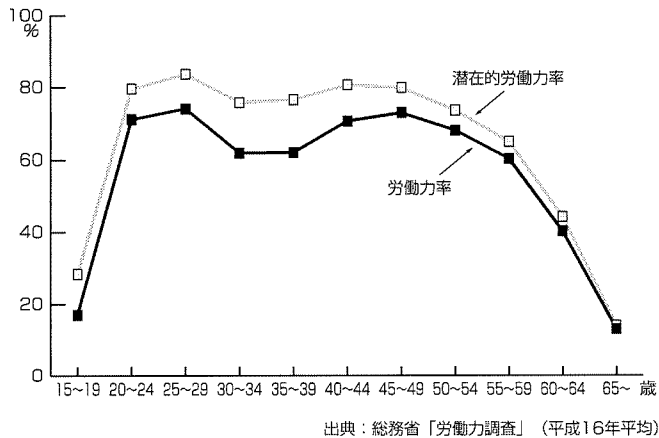
お風呂

だけど、現実には…

実は仕事を続けたい女性が多い

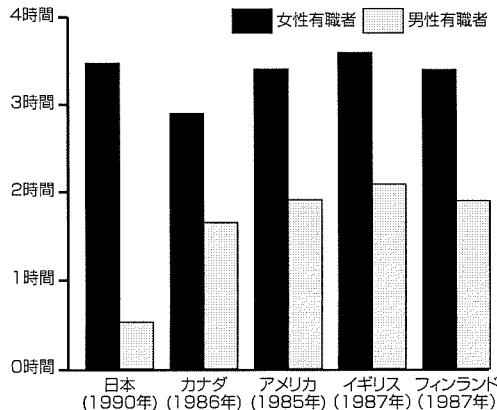
妊娠や出産、育児を理由に離職する女性が多いため、30歳代が谷になる“M字型曲線”。仕事をしたい意欲のある人を含めた“潜在的労働力率”との差は大きい

▼女性の年齢階級別労働力率



性別役割分業が色濃い
各国ともに女性の家事時間は長い、日本の男女格差はとびぬけて大きい

▼家事時間の国際比較

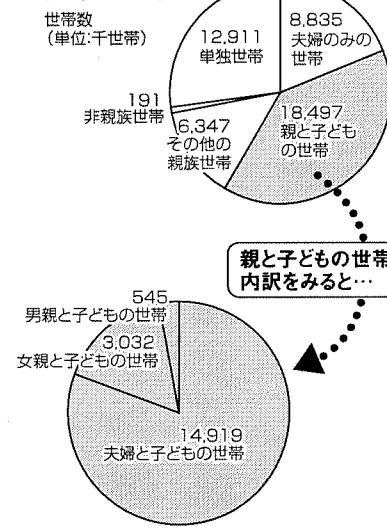


出典：女性のデータブック第3版「表16-3 家事、仕事、余暇時間の国際比較」より

ひとり親は少数派？

世帯の形はいろいろ、それぞれの形が尊重される社会でありたい

▼世帯の現状



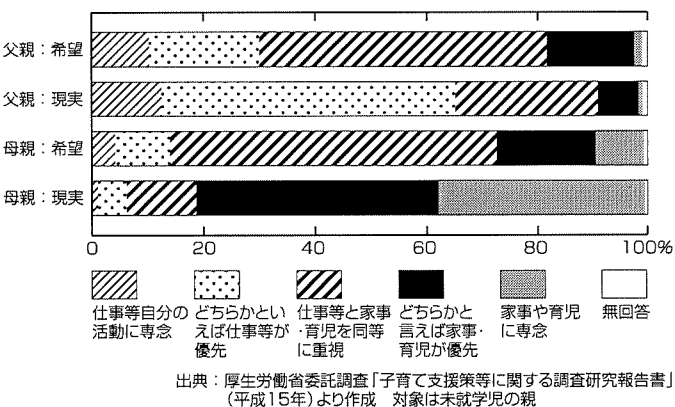
出典：2000年国勢調査



仕事も育児もしたい！

母親も父親も仕事と家事・育児をバランス良くしたいと思っているのに現実にはきびしい

▼子育ての現実



出典：厚生労働省委託調査「子育て支援策に関する調査研究報告書」(平成15年)より作成 対象は未就学児の親

子育て100人100通りのアイデンティティ

伊田広行さんに「シングル単位」で考える子育てについて聞きました。

シングル単位とは

私たちは、100人100通りの自分らしさをもっています。家族にも標準像はなく、家族一人ひとりが自分らしく自由に生きることが大切です。夫婦(男女)を個人としてではなくワンセットとみなし、養う・養われるなどの性別による役割分業が基本のシステムを「家族単位」、夫婦であっても互いに個人として自立した生き方を築くシステムを「シングル単位」と考えます。

「シングル単位」の家族とは、できることは自分でして、楽しみをシェアするというイメージです。自分のことは自分でするので、嫌な役割を強制されることはなくなります。

労働においては、短時間化、男女平等待遇、

同一価値労働同一賃金が原則。社会保障、戸籍、税制度なども基準は個人(シングル)単位です。従来の「家族単位」から「シングル単位」への発想の転換は簡単ではありませんが、夫婦はもちろん子どもにとっても多くのメリットをもたらすことになります。

シングル単位の子育てとは

シングル単位の子育ての基本は、子どもは親のものではないということです。子どもの年齢に応じ、自立する力を伸ばすことが子育てのめざすものでしょう。

しかし、よくある子育ては「家族単位」で、親子ワンセットといった親による子どもの所有であり、「してあげる」教育、もしくは「放任」「無関心」、あるいは「何でも言うことをきく甘やか

し」の関わりです。いずれにせよ子どもはプライベートや自分の考えを尊重されないため、自分に対する信頼感や自信がもてません。

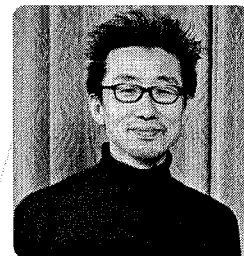
「シングル単位」の子育ては、考え方がまったくちがいます。親は子どもを自分の所有物としないで、「個人」として接します。年齢に応じて責任を与え、自分の気持ちを尊重することを経験させます。何か問題が起こったとき、親が代わりに解決してあげる、あるいは問題を予防するのではなく、「あなたはその問題の当事者であり、自分で解決できるのだよ」ということを伝え援助します。「見捨てないよ、見ているよ、愛しているよ」ということを示しつつ、自分でさせて、チャレンジしたことをほめるというような関わり方です。

その過程で子どもは自分なりに考え、結果を通じて学びます。失敗こそ生き延びる力を伸ばす大きなチャンスなのです。子どもの考える力、

自尊心、自信も自然に育まれます。

また、子どもが自立するためには、幼少期に愛情をいっぱい受けて、自分を肯定する感覚や人を信じる感覚を身につける必要があるでしょう。そして、子どもが適切な愛情を受けるには、親だけに頼るのではない育児環境全体のサポートが必要です。シングル単位の子育てをするためには、親が個人として自立した自分らしい生き方を築くことが大切です。

シングル単位の子育てを具体的にイメージするには、澤渡夏代さんの「デンマークの子育て・人育ち」(大月書店)がおすすめです。

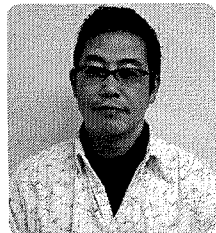


伊田広行さん
立命館大学非常勤講師。主な著書に「続・はじめて学ぶジェンダー論」「はじめて学ぶジェンダー論」(大月書店)など。近著は、編集を担当した日本女性学会ジェンダー研究会編「Q & A 男女共同参画/ジェンダーフリー・パッシング」(明石書店)





お父さんも育休です



小崎恭弘さん
長男(9歳)、次男(7歳)、
三男(4歳)、妻の五人家族

2003年の育児休暇(育休)の取得率は男性が0.4%と、女性の73%に比べ大きな開きがあります。そんな中、市内ではじめて育休を取得した男性保育士(当時)がおられるとのこと。話を伺いました。

W 保育士になろうとしたきっかけは?

小 高校生のとき野外活動で子どもたちとの関わりが楽しく、ずっと子どもたちと関わる職業につけたらいいなと思うようになりました。大学は幼児教育科で学び、男性保育士をめざす先輩から、「保育士はやりがいがあるよ」と励まされ、意を強くしました。

W 育休をとろうとした動機は?

小 妻の妊娠がわかったころから、育休をとろうと思っていました。制度としてあるのだし。

W 育休をとることに職場の反応はいかがでしたか?

小 上司への相談では拍子抜けするほど好意的でしたし、同僚は女性ばかりでしたので、理解もあり違和感はありませんでした。

W 保護者や園児からは?

小 保護者からは「いいなあ」と半分皮肉っぽく言われたりもしました。泣く園児もいてびっくりしましたが、復帰したときは「コザキッ、お帰り!」と園児たちから迎えてもらえました。

W 育休中はいかがでしたか?

小 育児は仕事より楽だと思っていましたが、実際は毎日がたたかいです。

W 育休が社会全般に十分に普及していない現状については?

小 私は恵まれた立場で育休をとれましたが、多くの民間企業ではとりにくいでしょうね。育休がとりやすいように、育休のいい面を強調するような優遇策を導入するのがいいのでは。ま

た、意識の問題もありますが、多様な生き方を認める社会、リトライができる社会のほうが生きやすいでしょうね。

育休取得の様子は著書「育休父さんの成長日記」(2000年 朝日新聞社)、「男性保育士物語～みんなで子育てを楽しめる社会をめざして～」(2005年 ミネルヴァ書房)に詳しく紹介されています。

二人三脚の子育て



多田英子さん
娘二人(18歳、
双子)、義母、夫
と五人家族

娘さんは二人とも自閉症の障害があるのでコミュニケーションをとるのが難しいため多田さんはあまり目が離せません。成長にともない多田さん一人では自宅介護を続けることができなくなり、長女だけを約6年間入居型施設に預けていました。そして昨年末、夫の早期退職と同時に自宅で暮らすようになりました。夫婦ともまだ年金を受給する年ではないので少しばかりの蓄えで生活しています。

W 早期退職って大きな決断ですよね?

多 私たち夫婦の健康面を考えても自宅介護の限界はそう遠くはないと話し合い、娘たちと少しでも一緒に暮らすために決断しました。以前は家事、介護、義母の送迎などすべて一人でしていたので睡眠以外はフル稼働でした。今は約半分を夫が担ってくれています。娘と一緒に地域で暮らす幸せ、介護の同士(夫)が隣にいる安堵感をかみしめています。

W 娘さんと父親の様子は?

多 夫は娘たちができることを一つでも増やしておいてやりたいという熱心に挑戦しています。その甲斐あって先日長女が風船を膨らませるようになりました!! 発達の遅れがある子どもをもった親すべてに言えることだと思うのですが、些細な能力の獲得を喜べます。今

も大変さには変わりはないですが、夫と一緒に娘の成長を楽しんでいます。

W 将来への思い、不安はありますか?

多 できれば彼女たちの人生を見届けたいですが、無理ですね。親の亡き後は入居型施設か、運が良ければグループホームで暮らすことになるでしょう。そのときは娘たちの思いを汲める心ある介護スタッフと出会えることを強く願っています。

W 社会へのメッセージがあれば教えてください。

多 誰でも実際にその立場にならないとわかりにくいと思いますが、マイノリティー(少数派)を理解する心をもってほしいです。行政には障害があっても地域で暮らすことのできる社会、ノーマライゼーションの実現を望みます。2006年4月から施行された「障害者自立支援法」は非常に厳しいものです。障害が重いほど支援が必要なのに負担が重くなる仕組みなので大変です。

障害のある人が当たり前で地域で暮らすための支援が足りないのが現状です。何かを犠牲にしないと障害のある人が地域生活を送ることができない社会はおかしいと感じました。

シングルファーザー歴半年



山本好章さん
娘(10歳)と二人
家族

山本さんのお宅に伺いました。時刻は19時半。山本さんは仕事から帰ってきたばかりで晩ご飯を作っている最中。娘さんが出迎えてくれました。

W パパと二人暮らしになって何が一番変わった?

娘 ご飯がまずい!!

W おいしいのもあったでしょ?

娘 カキフライ♪

山 スーパーで半額になってたやつ(笑)。

W: WAVE PRESS編集委員

すすむ格差の拡大

2006年、日本の内外で「格差」が指摘されました。「労働経済白書」では、少子化加速の原因の一つとして、非正規社員の増加と、正規社員と非正規社員の賃金格差があると分析しています。

また、OECD(経済協力開発機構)は、日本のジニ係数が0.314に達したと発表。ジニ係数とは、社会の所得分配の不平等さを測る指数で、0.3を超えると所得格差が目立つといわれています。

男女共同参画に関する積極的な施策が導入され、男女格差の小さい北欧諸国やフランス、ドイツのジニ係数はいずれも0.2台です。北欧諸国では出生率も上昇に転じています。

女性が男性との格差なしに働ける社会は、将来に希望がもてるという証でしょう。

用語解説

●アンペイドワーク unpaid work●

「無償労働」と訳され、賃金や報酬が支払われない働き方や活動を指しています。生活を維持するうえで必要な家事・育児・介護・地域活動などです。これらの大部分は女性によって担われてきました。対価をもらえない労働は労働とみなされず、労働統計にも計上されず、「見えない労働」として不当な評価を受けてきました。

1975年の国際婦人年をきっかけに、生活のあらゆる領域での女性の労働の価値を再評価し、男女の不均衡な役割分業を見直そうという動きがでてきました。1980年以降、国連の機関を中心に、女性の労働に対する貢献度の測定と評価のためのデータ収集が進められました。日本でも1997年から経済企画庁(当時)が「無償労働の貨幣評価」を発表しています。

Information

ウェブの講座

おとうさんといっしょ! 夏休み体験教室

化学実験教室 化学、ふしぎ発見!

理科実験&おもちゃづくりをします。

2006年8月26日(土) 10:00~12:00

●講師: 中原和文さん(父親サポート関西)

●参加費: 400円/1組、材料費別途必要

●場所: ウェーブ411学習室

●対象: 小学生とその父親、15組

●保育: 要予約 保育費無料、ただしおやつ代50円 定員20名

●申込受付期間: 7月15日(土)~8月12日(土)

●申込方法: 先着順

講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、保育の有無を記入の上、Eメール、FAX、電話でお申込ください。ウェブ窓口でも受け付けています。

【編集後記】 ■グラフを担当し、扱ったデータから希望と現実のギャップを痛感(河邊) ■子育てしやすい環境が整えば、私もいずれ...と思えるかも?(坂口) ■子育てにチャレンジできる男性は大人になれる(山本) ■積極的な改善措置と持続可能な社会の形成、いつまで寛容でいられるのだろう(金子) ■子育ては、親と子の心の絆をハート・ブリッジ(立石) ■オトコのこだわりで生きるのはむずかしそう。子育てすると、こだわりがなくなるのかも(中西)

ネットワーク委員とは:西宮市男女共同参画センター ウェーブを拠点に市民参画の事業を推進することを目的に公募で選ばれた市民(任期2年)。現在の第3期委員(6名)は主に情報誌の発行、ネットワーク活動を推進中。

ウェブは、男女共同参画社会の実現をめざす施設です。性別、年齢、国籍にかかわらず、ご利用いただけます。

◎開館時間

1月4日~12月28日

9:00~22:00

◎受付時間

月~土曜日(年末年始、休日除く)

9:00~17:15

WAVE PRESS Vol.2

●発行日

2006年6月15日

●編集・発行

西宮市男女共同参画センター ウェーブ

ネットワーク委員会

〒663-8204 西宮市高松町4番8号

フレラにのみや4階

Tel 0798-64-9495

Fax 0798-64-9496

http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/

